



## 第2日目(7/16) 現地1日目 午後ヤマヨ水産 ヤマヨ水産復興支援活動



[速報ページへ](#)

[午前のページへ](#)



津波によって養殖いかだや作業場が被害を受けたヤマヨ水産の支援活動を行いました。ここでは、朝の連続テレビ小説の「おかえりモネ」の実家ロケが行われた場所です。2013年には作業小屋の建設支援を行い、毎年続けて訪問しています。養殖筏はかなり復興したそうで、新たな筏設置のためのアンカーとなるジャリを詰める作業をしました。2時間ほどの作業で6t 150俵のジャリ袋を作りました。



ヤマヨ水産に向かう



小松さんからお話



筏用のジャリ詰め



筏用のジャリ詰め



運搬作業



運搬作業



ちょっと休憩



6t 150俵のアンカー完成



終了後のひと時



海をバックに



海でポーズ



帰り道も軽やか

## 生徒たちのふりかえり(2)

### 2年柿野(投稿者修正しました)

伝承館で、真っ黒な波が押し寄せて来て建物も全て流される映像をみて胸が苦しくなった。12mもの津波が校舎の天井を破壊し、ボルトのみが見えて天井はコンクリートとは思えないほどにボロボロで驚いた。

家が津波で流されてしまったりした人達用の仮設住宅には断熱材がなかったと初めて知った。断熱材がない家なんて想像できない。相当急いで住めるところがない人のために作ったのだと思う。

私は避難訓練はとりあえずやっておけばいいやと思いながら参加していたが、災害が起きたとの判断力を養うためにやっているのと知り、これからはきちんとしようと思う。伝承館で学んだいちばん大切なことは、迅速な高台への避難であり、遠くへ逃げることではない！

砂利を袋に入れるだけなのに、とても力が必要だったし、体力も必要だった。2時間だけなのに少し疲れたのにこれを毎日とかやっている養殖場の方たちはとてもすごいと思った。普段こんなことはやらないので貴重な経験となった！そのカキ養殖の場所は津波の大きな被害を受けたのに完全な養殖場となっていて感動した。「おかえりモネ」の雰囲気も味わえてよかった。

### 2年安永

東日本大震災のことは毎年報道されていたので知ってはいた。しかし、実際に震災を体験された語り部の方から話を聞き、ほんの一部ではあっても被害を受けた場所を拝見することで、無惨なことが本当に起きたのだと感ずることができた。このことを私達が次の世代へ繋いでいかなければならないという使命感を感じた。イカダ養殖のアンカー作りはすごく大変だったけど現地の方が簡単に縄を縛ったりしているのを見てすごいと思った。民泊は、幸運なことに岩手県の重要文化財に指定されている古民家に泊まらせて頂くことになった。いつもの生活と違い、不便なことも多いかも知れないけれど、なかなかできない経験だと思うのでこの不便さも含めて楽しんでいこうと思う。